



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社小田原エンジニアリング

コード番号 6149

URL <http://www.odawara-eng.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮脇 伸郎

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼管理部長 (氏名) 保科 雅彦 (TEL) 0465-83-1122

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	9,039	0.1	792	△14.9	843	△11.7	577	△68.8
29年12月期第3四半期	9,029	11.9	931	44.4	955	45.9	1,853	239.6

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 517百万円(△74.0%) 29年12月期第3四半期 1,992百万円(294.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	98.67	—
29年12月期第3四半期	316.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	15,314	11,866	77.5
29年12月期	16,196	11,505	71.0

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 11,866百万円 29年12月期 11,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
30年12月期	—	0.00	—		
30年12月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年12月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 15円00銭

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	1.4	1,000	△21.9	1,030	△22.4	700	△67.9	119.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	6,392,736株	29年12月期	6,392,736株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	536,484株	29年12月期	545,212株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	5,852,170株	29年12月期3Q	5,847,838株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出の持ち直しの動きに足踏みがみられたものの、設備投資や生産の増加、企業収益や雇用情勢の改善など、全体として緩やかな回復基調が続きました。

一方世界経済は、中国では景気は持ち直しの動きが続き、米国では景気は着実に回復が続き、欧州では景気は緩やかに回復するなど、全体としては緩やかに回復いたしました。

このような状況下、当社グループは国内外で積極的な営業活動を展開した結果、売上高は9,039百万円(前年同四半期比0.1%増)となり、利益面につきましては、営業利益は792百万円(前年同四半期比14.9%減)、経常利益は843百万円(前年同四半期比11.7%減)、前期に特別利益を計上していたことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は577百万円(前年同四半期比68.8%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①巻線機事業

巻線機事業に関しては、電気自動車・ハイブリッドカー用モーター巻線システムが好調に推移し、売上高は5,787百万円(前年同四半期比0.7%増)、開発要素の高い案件や先を見越した研究開発を進めたこと等により、セグメント利益は1,020百万円(前年同四半期比5.7%減)となりました。

また、ハイブリッドカーや電気自動車の駆動・発電機用モーターをはじめとした「車の電動化」により、モーター巻線システムの需要が大きく拡大し、当社個別ベースの受注高ならびに受注残高も過去最高となり、平成30年9月20日に発表しました「固定資産の取得(新工場建設)に関するお知らせ」に記載の通り、生産能力の向上、全自動ラインシステムならびに設備の大型化に対応するために、本社敷地内に新工場を増築することを決定しました。

なお、当社グループの巻線機事業は、完全受注生産で、案件ごとに仕様やボリューム、納期等が大きく異なるため、受注時期や売上時期は、四半期ならびに通期単位で大きく変動することがあります。

②送風機・住設関連事業

送風機・住設関連事業に関しては、堅調に推移していた産業用ロボットや工作機械・半導体向けの軸流ファンが受注減少の影響を受けたことに加え、ラジアルファンを中心とした主要顧客の在庫調整の影響もあったこと等により、売上高は3,252百万円(前年同四半期比0.9%減)、住宅換気拡販及び業務体制整備のための人員増加等による費用増加の影響もあり、セグメント利益は43百万円(前年同四半期比52.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.2%減少し、11,239百万円となりました。これは主に、現金及び預金が833百万円、受取手形及び売掛金が868百万円、商品及び製品が252百万円それぞれ減少し、電子記録債権が302百万円、仕掛品が414百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.0%増加し、4,074百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて5.4%減少し、15,314百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて30.0%減少し、2,963百万円となりました。これは主に、未払法人税等が815百万円、前受金が634百万円それぞれ減少し、支払手形及び買掛金が130百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5.3%増加し、484百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて26.5%減少し、3,447百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.1%増加し、11,866百万円となりました。これは主に、利益剰余金が402百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、平成30年2月14日に公表した業績予想に変更はありません。この予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,331,957	4,498,608
受取手形及び売掛金	3,134,786	2,265,846
電子記録債権	383,825	686,715
商品及び製品	1,087,535	834,950
仕掛品	1,342,377	1,757,145
原材料及び貯蔵品	566,161	615,384
繰延税金資産	225,098	255,598
その他	171,317	326,628
貸倒引当金	△1,349	△1,072
流動資産合計	12,241,709	11,239,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,922,431	2,959,687
減価償却累計額	△1,766,286	△1,846,922
建物及び構築物(純額)	1,156,144	1,112,764
機械装置及び運搬具	1,180,296	1,384,546
減価償却累計額	△953,945	△1,007,388
機械装置及び運搬具(純額)	226,351	377,158
工具、器具及び備品	1,154,308	1,196,897
減価償却累計額	△1,042,577	△1,059,591
工具、器具及び備品(純額)	111,730	137,306
土地	1,576,037	1,576,200
建設仮勘定	36,746	34,519
有形固定資産合計	3,107,010	3,237,949
無形固定資産		
ソフトウェア	65,413	78,557
電話加入権	3,043	3,043
その他	148	1,134
無形固定資産合計	68,605	82,736
投資その他の資産		
投資有価証券	466,228	447,366
破産更生債権等	0	0
退職給付に係る資産	286,168	282,172
その他	26,402	24,076
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	778,799	753,616
固定資産合計	3,954,415	4,074,301
資産合計	16,196,125	15,314,107

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,659,802	1,789,925
未払金	281,556	192,077
未払法人税等	843,102	28,021
前受金	1,136,204	501,528
賞与引当金	72,310	203,006
アフターサービス引当金	78,905	76,968
その他	159,228	172,266
流動負債合計	4,231,110	2,963,794
固定負債		
繰延税金負債	106,177	95,300
役員退職慰労引当金	139,390	—
退職給付に係る負債	174,757	169,222
資産除去債務	27,902	28,139
その他	11,593	191,487
固定負債合計	459,820	484,149
負債合計	4,690,930	3,447,943
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,250,816	1,250,816
資本剰余金	1,786,154	1,799,593
利益剰余金	8,835,264	9,237,299
自己株式	△381,817	△376,161
株主資本合計	11,490,418	11,911,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174,633	158,983
繰延ヘッジ損益	△4,983	△25,463
為替換算調整勘定	△154,873	△178,903
その他の包括利益累計額合計	14,776	△45,383
純資産合計	11,505,194	11,866,163
負債純資産合計	16,196,125	15,314,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	9,029,555	9,039,549
売上原価	6,349,016	6,435,203
売上総利益	2,680,538	2,604,346
販売費及び一般管理費	1,749,104	1,812,134
営業利益	931,433	792,211
営業外収益		
受取利息	645	2,436
受取配当金	4,231	4,958
受取賃貸料	12,569	10,304
受取保険金	—	10,643
作業くず売却益	7,213	6,316
その他	10,759	18,162
営業外収益合計	35,420	52,823
営業外費用		
支払利息	31	—
為替差損	8,536	—
減価償却費	2,318	1,999
その他	922	19
営業外費用合計	11,810	2,018
経常利益	955,043	843,016
特別利益		
固定資産売却益	65,388	2,970
投資有価証券売却益	1,584,525	—
特別利益合計	1,649,913	2,970
特別損失		
固定資産除売却損	127	309
特別損失合計	127	309
税金等調整前四半期純利益	2,604,830	845,677
法人税、住民税及び事業税	864,863	294,795
法人税等調整額	△113,520	△26,578
法人税等合計	751,342	268,216
四半期純利益	1,853,487	577,460
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,853,487	577,460

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,853,487	577,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,006	△15,650
繰延ヘッジ損益	53,537	△20,479
為替換算調整勘定	69,911	△24,030
その他の包括利益合計	139,455	△60,159
四半期包括利益	1,992,943	517,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,992,943	517,300

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,747,706	3,281,848	9,029,555	—	9,029,555
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,268	1,268	△1,268	—
計	5,747,706	3,283,117	9,030,824	△1,268	9,029,555
セグメント利益	1,082,791	91,759	1,174,550	△243,116	931,433

(注)1.セグメント利益の調整額△243,116千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2.セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,787,327	3,252,221	9,039,549	—	9,039,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	522	522	△522	—
計	5,787,327	3,252,744	9,040,072	△522	9,039,549
セグメント利益	1,020,754	43,834	1,064,589	△272,377	792,211

(注)1.セグメント利益の調整額△272,377千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2.セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。